

1. 莊園 2. 口分田 3. 墾田 4. 名田

1. 朱雀大路が中央を通り、シルクロードを通じて唐やイスラム帝国の物品がもたらされた。	2. 東海道が中央を通り、渤海から派遣された使節によって仏教の経典が独占的に輸入された。	3. 御堂筋が中央を通り、モンゴル帝国から伝わった建築技術で平城宮が建設された。	4. 北条大路が中央を通り、宋との正式な国交を通じて貨幣経済が急速に浸透した。
---	--	--	---

1. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面	2. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面	3. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面	4. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面
--	--	--	--

1. 鹿苑寺金閣 2. 正倉院 3. 平等院鳳凰堂 4. 法隆寺夢殿

1. 庸 2. 租 3. 調 4. 雜徭

1. 九州北部に大宰府を置き、防人や水城などを配置して東アジアの情勢に対応した。
2. 西日本の武士を動員して御家人とし、沿岸部に元寇防塁を築いて防備を固めた。
3. 九州南部に平城京を模した都市を築き、海外からの使者を迎える専用の拠点とした。
4. 陸奥国に鎮守府を置き、城柵を築いて東アジアの情勢に対応した。

1. 日本独自の文字や文学を普及させ、
国風文化を発展させるため

2. 大陸との貿易をさらに活発にし、
国の財政を豊かにするため

3. 貴族や僧侶の勢力を抑え、武士の
力による新しい政治を始めるため

4. 仏教の教えによって社会の不安を
しずめ、国を安定させるため

1. 九州沿岸の防衛を強化するため、中央政府から派遣された国司が、防人として現地に留まって国境を警備した。
2. 鎌倉幕府によって任命された守護が、各地の国司と協力して軍事や警察の役割を果たし、二重の支配体制を築いた。
3. 地方の有力な豪族が国司として任命され、中央政府から派遣された郡司とともに、土地の私有化を進めた。
4. 中央政府から派遣された国司が、地方の有力豪族が任命された郡司を指揮して、行政や徴税を行った。

1. 白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅の侵攻に備えて九州北部に防人を配置し、国防を強化した。
2. 大陸から伝来した最新の稲作技術を九州北部から東国へ広めるため、技術者を防人として全国に派遣した。
3. 比叡山延暦寺などの仏教勢力から国家を守るため、九州北部の軍勢力を強化して僧兵の反乱に備えた。
4. 遣隋使として中国へ渡る使節団の安全を確保するため、西日本の農民を護衛官として九州北部に集結させた。

1. 地元の有力な豪族が任命され、代々その土地を治める郡司	2. 荘園や公領に配置され、年貢の徴収や土地の管理を行った地頭	3. 中央の貴族が任命され、任期を終えると中央に戻る国司	4. 武家政権によって諸国に置かれ、軍事や警察を担った守護
-------------------------------	---------------------------------	------------------------------	-------------------------------

1. 租 2. 調 3. 庸 4. 兵役

1. 藤原氏などの有力貴族の勢力を抑え、天皇による中央集権体制を誇示するため	2. 武士の台頭に対抗するため、寺院に独自の軍事力を持たせて都を警護させるため	3. 仏教の力に頼ることで、疫病や社会の混乱を鎮め、国家の安泰を願うため	4. 遣唐使の派遣を停止し、大陸の影響を受けない日本独自の文化を確立するため
--	---	--------------------------------------	--

1. キリスト教の伝来に対抗して、日本古来の神道と仏教を融合させて新しい宗教を作るため	2. 摂政や関白による政治を終わらせ、天皇が直接政治を行うための新しい理論が必要だったため	3. 武士の力を抑制するために、寺院に独自の軍事力を持たせて権力の均衡を図ったため	4. 疫病や政情不安が続く中、仏教の力で人々の心を安定させ国家を維持しようとしたため
---	---	---	--